



コミュニティスクール通信

Heart-Warming School 錦江台小学校 学校運営協議会事務局発行

初めての学校運営協議会が開催されました。

6月23日(金)に第1回学校運営協議会を開催しました。学校運営協議会は、コミュニティ・スクールとも言われ、2017年3月の地教行法の改正により設置が努力義務化されました。本市では、すべての学校でこの協議会が設置されています。

この制度は、地域住民、保護者等が、教育委員会、校長と責任を分かち合い、学校運営に携わっていくもので、学校の運営への保護者や地域住民の参画を制度的に保障するための仕組みです。これにより学校運営に地域の声を積極的に生かし、地域と一体となって特色ある学校づくりを進めていくことができます。

▶参考:文部科学省のHP

https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/communi

協議会の役割は何か?

具体的には、以下の3つの役割があります。

- 校長が作成する学校運営の基本方針を承認する。
- 学校運営に関する意見を教育委員会又は校長に述べるができる。
- 教職員の任用に関して、教育委員会規則に定める事項について、教育委員会に意見を述べるができる。

委員会のメンバー紹介(敬称略)

- 委員長:上田裕一(まちづくり協議会会長)
- 副委員長:田中裕一(鹿児島幼稚園園長)
- 内大久保清一(PTA会長)
- 末永浩幸(おやじの会会長)
- 蓑毛良助(鹿児島国際大学名誉教授)
- 向原良子(女性学級長)
- 熊澤佳子(元あいご会副会長)
- 川原三郎(放課後子ども教室コーディネーター)
- 寺坂力夫(学校支援ボランティア地域コーディネーター)
- 雲井享子(まちづくり協議会事務局)
- 吉永直昭(和田中学校校長)

どんな協議を行ったのか?

授業参観後に、学校の現状や課題について意見交換を行いました。その後、校長が学校のグランドデザインを元に、学校経営案を説明しました。委員からは、目指す家庭像を検討してはどうか、経営の達成状況を確認し、不足分を議論してはどうか、学校の強みと弱みは何か、この会でどんなことを目指し、どう行動していくのか、活動のフィードバックを行えばどうかなどの意見が出されました。また、授業中の子ども支援、就学指導のあり方、文教地区としての錦江台校区のあり方、幼児教育と保育、不登校児童への対応など多彩な話題が出されました。

～今後の日程(予定)～
第2回:9月8日(金)
授業参観、学校評価、学力面、生徒指導面に係る実態把握と協力体制に係るニーズ把握他

第3回:11月2日(木)
授業参観、給食試食
第4回:2月26日(月)
授業参観、活動の振り返りと評価